指定管理者導入施設 管理運営総合評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒市高山竹林園			
所在地	生駒市高山町3440番地			
指定管理者名	奈良県高山茶釜生産協同組合	指定期間	開始日	平成29年 7月 1日
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	令和 4年 3月31日
選定方法	非公募	評価実施年	最終年度を除く指定管理期間全体	
設置目的	本市の地場産業である竹製品の振興及び市民の文化と教養の向上に資する			
主な実施事業等	高山竹あかりの開催等 地場産業である竹製品の振興事業			

2 利用実績

利用区分等	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
研修室	円			30,850	17,470	7,760	5,240
和室	円			202,970	258,470	188,240	128,880
竹生庵	円			9,260	8,230	37,940	16,760

3 事業収支

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
収入計	A	0	0	28,474,859	37,829,263	37,448,987	37,341,831
指定管理料				27,016,000	34,171,000	34,513,000	34,804,000
利用料金収入				243,080	284,170	233,940	154,020
自主事業収入				899,183	2,994,183	2,436,866	2,054,467
その他				316,596	379,910	265,181	329,344
支出計	B	0	0	28,196,782	36,303,245	36,246,820	34,265,071
指定事業費				27,476,667	34,567,365	34,909,280	33,032,420
自主事業費				720,115	1,735,880	1,337,540	1,232,651
事業収支	A-B	0	0	278,077	1,526,018	1,202,167	3,076,760

4 管理運営状況評価

有効性 ：施設の設置目的の達成（施設の目的や特性等に合致した管理運営、市民の平等な利用の確保、利用者の満足度等）	
指定管理者による自己評価	竹林園と茶釜、茶道具、編み針等の地場産業を積極的にPRし地場産業の振興に努めるとともに、竹林園利用者の増加を図り、公平かつ丁寧な接客に努め、利用者アンケートにおいても高い評価をいただいている。
市の評価	市の実施する事業に積極的に参加される等、市と連携して地場産業をPRした。また、日頃より竹林等の整備と丁寧な接客を心掛けた結果、市へのクレームもほとんど無く、アンケートによる利用者満足度も高い。
効率性 ：経費の縮減等の効果（経費縮減・収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	適切な施設維持管理に努めるとともに、老朽施設ではあるが、細やかな維持補修に努め、経費の節減に努めた。新型コロナの影響はあつたものの、クーポン券等取扱店舗の登録等集客に努め影響は軽微であった。
市の評価	市としても地場産業及び観光振興の重要な拠点ととらえ、平成29年度 資料館トイレ改修工事、平成30・31年度 多目的広場改修工事、令和元年度 通路排水工事、令和2年度 軽トラックや空気除菌機器等の購入等、重点的に経費をかけ、利用者の利便性と安全性向上に努めている。これらを活用し、収入増加につながる取組についても検討されたい。
適正性 ：適正な施設の管理運営（施設の管理運営の状況、自主事業の取組、安全管理・危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	利用者サービスの向上を図るため、職員の自己啓発に努め、また自主事業を充実しリピーターの増加に努めた。
市の評価	日常的な見回りと適切な管理で、事故を防いでいる。自主事業として、お抹茶体験と高山ソフト販売を継続しているが、新たな取組についても検討されたい。

安定性：サービスの安定的な提供（事業収支の状況）

指定管理者による自己評価

積極的・効率的な施設運営と事業実施により経常利益を計上することができた。

市の評価

積極的な事業実施による収益を、一層の利用者サービス向上につながる取り組みに充てられたい。また、老朽施設の補修や物品購入への充当等経費削減対策についても検討されたい。

5 総合評価（指定管理期間全体を通じた管理運営に対する評価）

指定管理者による自己評価

高山竹林園利用者アンケートでは、施設利用後の満足度でほぼ全ての方に「満足」「ほぼ満足」とお答えいただくとともに、「また、竹林園を利用したいですか」の設問で、ほぼ全ての方に「利用したい」とお答えいただいています。これは、これまで以上に笑顔や挨拶、丁寧な説明等に努めたことにより、スタッフの接客対応に非常に高い評価をいただくとともに、指定管理者に移行後に実施した、茶室師の伝統と匠の技が身近で感じられる「茶室の制作実演」の毎週日曜日の実施や、自らでお抹茶を点てて飲んでいただく「お抹茶体験」を毎日実施したことなど、お客様目線の事業展開や竹林の整備等が高く評価されたものと考えています。

市の評価

引き続き丁寧な接客と利用者目線に立った柔軟な対応でリピーターを獲得する一方、一層の利用者増・収益増に向けた新たな取組についても検討されたい。